

2021 年度支部活動【関西支部】開催報告 『『いろいろどり 生活の日本語』の活用』

主催：公益社団法人日本語教育学会
開催日：2021 年 10 月 23 日（土）13：30-16：00
会場：オンライン（Zoom）
参加人数：70 名（会員 17 名・一般 53 名）

10 月 23 日（土）に関西支部活動『『いろいろどり 生活の日本語』の活用』を、国際交流基金日本語国際センター専任講師の藤長かおる氏と羽吹幸氏をお迎えして、オンライン（Zoom）で開催しました。今回は、関西支部エリア在住もしくは所属している方の優先受付枠を 2 週間ほど設けました。そのため、当日は 70 名（会員 17 名・一般 53 名）の参加者の中で、8 割以上が関西に関係のある方々の参加となりました。

第一部では、藤長かおる氏に『『いろいろどり 生活の日本語』の教材開発の背景や、教材の目的・特徴についてご紹介いただきました。現在は、英語以外に 8 言語、今後はさらに 5 言語が公開される予定の他、「ことばリスト」、「漢字リスト」や「文型リスト」なども無料でダウンロードでき、周辺教材が充実していることがよくわかりました。

第二部では、羽吹幸氏に『『いろいろどり 生活の日本語』の活用』と題して、教材の構成をご紹介いただき、実際に「話す」活動の授業体験を行った後、グループワークで本教材に対する気づきや、活用する際に難しいと思うことや疑問に感じたことをシェアしました。各グループでの話し合いで出された疑問点などは、全体で共有し、具体的な使用方法などについてアドバイスをいただきました。

第三部では、「話す」以外の活動の紹介や、『『いろいろどり 生活の日本語』の使い方のポイント、コースデザインについてご紹介いただきました。課における学習目標を「Can-do」で確認し、活動終了後にもう一度「Can-do」を利用して目標達成を学習者自身が確認することで、自律した学習者の養成につながるというお話は、日本語学習支援者としてどのように学習者と関わっていけばいいのかを考えるきっかけになりました。

事後アンケートには、たくさんのコメントが寄せられました。特に、第二部の授業体験により、実際の授業をイメージすることができたという声が多く寄せられました。また、ご回答くださった全員から、今回の支部活動への参加に満足したとのご意見をいただきました。今回は、日本語教育学会員以外の参加者が全体の 8 割近くもあり、関西支部エリアで活躍されている日本語教育関係者の「交流の場」を持つことができたのではないかと思います。

この場を借りて、本支部活動にご参加くださった皆様、そしてご協力くださった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

（報告者：支部活動委員：木下謙朗、ルチラ パリハワダナ、内田さつき）

